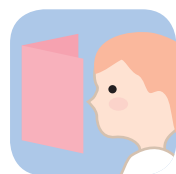


握手

井上ひさし
いのうえ ひさし

P.30~43



- 場面設定の仕方や登場人物の描かれ方を読み取り、その人物像を的確に捉える。
- 登場人物の会話に注目し、人間関係について自分の意見をもつ。

語句

■ 語句の意味を辞書で調べよう。

達者 たっしゃ

〈用例〉あの人、水泳が達者だ。

教 30 ページ 8 行め

年季 ねんき が入る はい

〈用例〉年季が入った職人技を見せる。

教 30 ページ 11 行め

気前 きまえ がいい

〈用例〉兄は気前がいいので、何でもくれる。

教 31 ページ 18 行め

代物 しろもの

〈用例〉大変貴重な代物を手に入れた。

教 31 ページ 20 行め

傲慢 ごうまん

〈用例〉傲慢な振る舞いに嫌気がさす。

教 34 ページ 16 行め

こたえる

〈用例〉真冬の寒さが体にこたえる。

教 36 ページ 6 行め

教 36 ページ 6 行めの「こたえる」は、漢字では「応える」と書くよ。



■短文を作ろう。

精せいを出すだ

教 32 ページ 16 行め

〈意味〉熱心に働く。一生懸命に努力する。

…(の)わりに

教 35 ページ 2 行め

〈意味〉予想したよりも。

せわしく

教 35 ページ 9 行め

〈意味〉忙しそうで、側で見ているこちらが落ち着かない。

「せわしく」は「せわしなく」と同じ使い方をするよ。



ひねり出すだ

教 36 ページ 8 行め

〈意味〉あれこれ苦勞をして、やっとの思いで、生み出す。

地道じみち

教 37 ページ 5 行め

〈意味〉無理せず、しっかりと確実にやる様子。

■類義語・対義語を調べよう。

類

奇妙きみょう

(教 33 ページ 3 行め)

〈意味〉普通とは違って変な感じがする。

対

平凡へいぼん

(教 37 ページ 15 行め)

〈意味〉ごく普通で、とくに優れたところも、変わったところもみられない。

類

腕前うでまえ

(教 38 ページ 13 行め)

〈意味〉物事をうまくやれる能力や技術。

読解

ステップ1 内容を整理しよう

1 次の図の①～④に「現在」・「近い過去」・「遠い過去」のどれかを入れて、それぞれの場面の「時」を確かめよう。

読み方を学ぼう③

回想 (教 43 ページ)

話の順序

① 上野公園の西洋料理屋でのルロイ修道士と「私」の会話。そして、それに続く上野駅での別れ

② 「私」の少年時代

- ・入園時の握手
- ・ルロイ修道士のてのひら
- ・ルロイ修道士の爪
- ・天使園から抜け出した事件
- ……など

③ 「まもなく」周忌である。

④ 「葬式でそのことを聞いたとき、……」

2 次のしぐさについて、ルロイ修道士の変化をまとめよう。

(1) 握手

教 32 ページ 6～9 行めからあてはまる部分を全て抜き出そう。

①	「私」の天使園への入園時
②	西洋料理店で話したとき

(2) てのひらを擦り合わせる

「 」にあてはまることばを教 32 ページ 14 行めから抜き出そう。

①	「私」が天使園にいた頃
②	西洋料理店で話したとき
③	と
④	とは

↓ 畑や鶏舎で食料を作っていたため。

ステップ2 内容を読み取るう

【場面1】久しぶりの握手(教30ページ初め～32ページ11行め)

- 1 ルロイ修道士とは、どんな人物ですか。□□にあてはまることばを①は六字、②は二字で教科書から抜き出そう。

・「私」が少年時代に厄介やっかいになった① の

を務めていた人。

- 2 ルロイ修道士は、「私」を呼び出した理由を何と書いていますか。

- ・① () ことになったので、② () を言うため。
 - 3 ルロイ修道士が握手を求めてきたとき、「私」はどんな光景を思い出しましたか。教科書から十四字で抜き出そう。
-

【場面2】天使園での思い出(教32ページ12行め～34ページ20行め)

- ◆ 「私」が天使園てんしえんにいた頃、ルロイ先生は「心の底では日本人を憎んでいる」(教34ページ1行め)などのうわさがありました。実際のルロイ先生はどのような態度でしたか。() にあてはまることばを書こう。

・いつまでたっても① () 、天使園の子どものために

② () になって野菜を作り、子どもたちが野菜を食べる姿を

③ () 眺めていた。

読み取りのヒント

【場面1】

- 1 ルロイ修道士と「私」の関係は、
教31ページ8～10行めに書かれているよ。

- 2 「私」に会ったとき、ルロイ修道士が初めに話した内容に着目しよう。

- 3 「私」は、過去にもルロイ修道士と握手したことがあるね。「光景」ということばに注意して探そう。

【場面2】

◆ ルロイ先生は戦勝国の白人、天使園の子どもたちは敗戦国の日本人だよ。戦争のときのできことから、子どもたちはルロイ先生が日本人を憎んでいるのではないかと疑っていたんだね。

天使園のみんなはルロイ先生の姿を見て、うわさをしなくなったよ。



【場面3】「私」の疑念（教35ページ1行め～37ページ11行め）

1 「私」は、ルロイ修道士のどのような様子を不審に思いましたか。□□にあてはまることをばを教科書から五字で抜き出そう。

・オムレツをちつとも口へ運ばず、
 □□□□□
 様子。

2 握手をしたときの感じと1の異変から、「私」はどのような疑いを持ちましたか。それが書かれているひと続きの二文を探し、始めと終わりの五字を抜き出そう。（句読点や記号を含む。）

□□□□□
 □□□□□
 □□□□□
 □□□□□
 □□□□□
 □□□□□

【場面4】ルロイ修道士の思い（教37ページ12行め～39ページ6行め）

1 「私」がルロイ修道士に質問しようとしてやめたことを教科書から抜き出そう。

□□□□□
 □□□□□
 □□□□□
 □□□□□

2 ルロイ修道士は、どんなときに楽しさや悲しみを感ずると話しましたか。□□にあてはまることをばを①②は三字、③は四字で教科書から抜き出そう。

① 楽しさ…：天使園で育った子が
 □□□□□
 □□□□□
 □□□□□
 □□□□□
 へ出て、

② □□□□□
 □□□□□
 □□□□□

の働きをしているのを見るとき。

③ 悲しみ…：天使園で育った子が
 □□□□□
 □□□□□
 □□□□□
 □□□□□
 も天使園へ預けるために

やってくるのを見るとき。

読み取りのヒント

【場面3】

1 「私はハテナと心の中で首をかした。」（教35ページ2行め）とあるね。「首をか上げる」は、不審に思うときにする動作だよ。

2 教37ページ7行めから始まる部分で、「握手」の感じを思い出しているよ。「疑い」は「……ではないか。」などの形で表されるね。

【場面4】

1 「平凡な質問」をする前に「はばかられ」たことばだよ。「はばかられる」とは「控える。遠慮する」という意味だよ。

2 「いっとう楽しい」ときについて話したあと、「いっとう悲しい」ときについて話しているよ。ルロイ修道士にとっては、天使園で育った子どもの人生こそが、楽しさや悲しみにつながっているんだね。

【場面5】 ルロイ修道士との別れ (教39ページ7行め～40ページ6行め)

1 ルロイ修道士は、死ぬことに対してどのような考えをしていますか。 □□ にあてはまることばを①は七字、②は三字で教科書から抜き出そう。

・死ぬことは①
 に行くことだから、そ

んなに怖くはなく、②
 と考えている。

2 「私」が、ルロイ修道士の癖をまねて別れの挨拶をしたことが書かれているひと続きの二文を探し、始めと終わりの五字を抜き出そう。(句読点を含む。)

【場面6】 ルロイ修道士のその後 (教40ページ7行め～40ページ終わり)

1 「私」たちに会って回っていた頃、ルロイ修道士の身体はどんな状態でしたか。教科書から十六字で抜き出そう。

2 「私は知らぬ間に、両手の人さし指を交差させ、せわしく打ちつけていた」(教40ページ9～10行め)とありますが、このしぐさはどのような意味を表していますか。適切なものを次の中から選ぼう。

- ア あなたは最高です。
- イ 私のことばを聞いてください。
- ウ あなたは悪い人ですね。
- エ あなたの幸運をお祈りします。

読み取りのヒント

【場面5】

1 「私」が改札口の前で思いきって質問したのに対して、ルロイ修道士が答えた二つの会話文から抜き出そう。

2 「私」は別れ際に、ルロイ修道士の「指ことば」や握手のしかたをまねしているよ。

【場面6】

1 上野の西洋料理店で会ったときには知らされておらず、葬式のときに初めて知った内容だよ。

2 教35ページ9行めから始まる部分に、このしぐさのことが書かれているよ。

ルロイ修道士の「指ことば」の意味を確かめよう。



ステップ3 考えを深めよう

1 次のことを言っているときの「ルロイ修道士」と「私」の心情を、あとの**条件**に従って書こう。

①(私) 「申しわけありません。」(教34ページ10・11行め)

↓ 先生に謝りたい。

(ルロイ)「総理大臣のようなことを言っはいいけませんよ。」

(教34ページ15行め)

↓ ものを言うのは傲慢だ。

条件 二つの に共通してあてはまることばを、教科書から八字で抜き出す。

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

「私」が戦争中のできごとについて謝った場面だよ。ルロイ修道士は、「私」が謝る必要はないと伝えているんだよ。



②(私) 「だったらいいのですが……。」(教36ページ19行め)

↓ 本当に大丈夫なのだろうか。 だなあ。

(ルロイ)「仕事はうまくいっていますか。」(教36ページ20行め)

↓ をかけたくないから、話を換えよう。

条件 二つの に共通してあてはまることばを、漢

字二字で書く。

<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------

③(ルロイ)「車が待っています。」(教39ページ8行め)

↓ のことを知られてしまう前に別れよう。

(私) 「死ぬのは怖くありませんか。」(教39ページ13行め)

↓ 先生はやっぱり重い にかかっているのではないか。思いきってきいてみよう。

条件 二つの に共通してあてはまることばを漢字

二字で書く。

<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------

②は「くをかける」、
③は「くにかかる」という形で使うことばだよ。



④(ルロイ)「痛いですよ。」(教40ページ5行め)

↓ 心配してくれて、ありがとう。

でも、私には がついていてくださるのだから、大丈夫だよ。

条件 にあてはまることばを、ルロイ修道士の会

話文から漢字二字で抜き出す。

<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------

